

宮崎県議会 令和6年11月定例会 一般質問時間割

※ 網掛は教育委員会への質問なし

■ 11月27日(水) 一般質問

順序	会 派	質 問 者	時 間	備考
1	自由民主党	坂口博美	10:00~11:00	
2	自由民主党	丸山裕次郎	11:00~12:00	
3	自由民主党	川添博	13:00~14:00	
4	県民連合立憲	永山敏郎	14:00~15:00	

■ 11月29日(金) 一般質問

順序	会 派	質 問 者	時 間	備考
9	親和会	脇谷のり子	10:00~11:00	
10	自由民主党	山口俊樹	11:00~12:00	
11	自由民主党	下沖篤史	13:00~14:00	
12	自由民主党	二見康之	14:00~15:00	

■ 11月28日(木) 一般質問

順序	会 派	質 問 者	時 間	備考
5	自由民主党	福田新一	10:00~11:00	
6	公明党	重松幸次郎	11:00~12:00	
7	日本共産党	前屋敷恵美	13:00~14:00	
8	自由民主党	安田厚生	14:00~15:00	

■ 12月2日(月) 一般質問

順序	会 派	質 問 者	時 間	備考
13	自由民主党	荒神稔	10:00~11:00	
14	自由民主党	山内いっとく	11:00~12:00	
15	自民党同志会	井本英雄	13:00~14:00	
16	県民連合立憲	岩切達哉	14:00~15:00	

■ 12月3日(火) 一般質問

順序	会 派	質 問 者	時 間	備考
17	公明党	工藤隆久	10:00~11:00	
18	自由民主党	黒岩保雄	11:00~12:00	
19	自由民主党	佐藤雅洋	13:00~14:00	

【主な質問について】

○ 高校教育整備計画 ※No. 15~20

- ・ 佐藤雅洋議員 「県立高等学校教育整備基本方針を本年度見直すとのことだが、高千穂高校の今後の方向性について伺いたい。」
- ・ 丸山裕次郎議員 「教員の配置を含め、今後の県立高校の在り方をどのように考えているか伺いたい。」 など

○ 高等特別支援学校 ※No. 21~25

- ・ 重松幸次郎議員 「令和9年度に開校する県央地区の高等特別支援学校における共生社会に向けた取組について伺いたい。」
- ・ 岩切達哉議員 「県立高等特別支援学校の開校に向けた周知や募集要綱、選考方法などについて伺いたい。」 など

○ 不登校 ※No. 44~51

- ・ 前屋敷恵美議員 「本県の不登校児童生徒の現状について伺いたい。」
- ・ 工藤隆久議員 「新たな不登校を生まない小学校段階からの未然防止の取組について伺いたい。」 など

宮崎県議会 令和6年度定例会における本会議答弁件数

	6月		9月		11月		2月		計	
	令和5年度	令和6年度								
教育政策課	1	5	7	0	0	2	2		10	7
財務福利課	3	2	4	5	2	2	3		12	9
高校教育課	4	15	6	2	6	15	10		26	32
義務教育課	6	6	4	9	9	3	5		24	18
特別支援教育課	3	2	6	5	1	6	6		16	13
教職員課	4	9	6	7	1	3	11		22	19
生涯学習課	4	3	6	8	4	4	6		20	15
スポーツ振興課	7	20	4	5	5	7	8		24	32
文化財課	0	1	3	4	9	2	2		14	7
人権同和教育課	9	5	7	8	15	9	12		43	22
計	39	68	53	52	52	51	62		206	171
	(実答弁数)									

※ 計の（実答弁数）と各課の合計が一致しない議会があるのは、1つの答弁を複数の課で担当したケースがあったため。

令和6年11月定例会 質問の概要(キーワード順)

NO	キーワード	質問者	会派	問 い の 概 要	担当課
1	I C T活用	二見 康之	自由民主党	授業におけるタブレットの活用について伺いたい。	義務教育課 高校教育課
2	P T A	二見 康之	自由民主党	P T Aの設立経緯と役割について伺いたい。	生涯学習課
3	P T A	二見 康之	自由民主党	時代に即したP T Aの在り方について伺いたい。	生涯学習課
4	いじめ(いじめ ／不登校)	前屋敷 恵美	共産党	不登校児童生徒数やいじめの認知件数が増加していることを受け、どのような取組を進めていくのか伺いたい。	人権同和教育課
5	学習指導 ／学習内容	井本 英雄	自民党同志会	全てを自分たちで考え、話し合い、決めていく自由な教育が大切だと考えるが、教育長の見解を伺いたい。	義務教育課
6	学校給食・食育	黒岩 保雄	自由民主党	市町村における学校給食費の現状と、摂取エネルギーにおける国の基準量及び県の摂取量について伺いたい。	スポーツ振興課
7	学校給食・食育	黒岩 保雄	自由民主党	市町村の学校給食に対して、県はどのような役割を担っているのか伺いたい。	スポーツ振興課
8	学校給食・食育	黒岩 保雄	自由民主党	学校給食の質や量について県としてどう考えているのか伺いたい。	スポーツ振興課
9	学校指定品・教材	山口 俊樹	自由民主党	県立高校に通う生徒の教材費等について、保護者の経済的負担の状況を把握しているのか伺いたい。	財務福利課
10	キャリア教育 ／職業教育 ／進路指導	荒神 稔	自由民主党	県立の職業系専門高校における自動車学校への入学時期について伺いたい。	高校教育課
11	キャリア教育 ／職業教育 ／進路指導	山内 いっとく	自由民主党	将来、地元で働きたいと思う子供の育成につながるキャリア教育の取組について伺いたい。	義務教育課
12	教育理念・抱負	丸山 裕次郎	自由民主党	人口減少が進む中、どこにいても質の高い教育が受けられるよう、県は危機感をもって宮崎の人づくりに取り組むべきと考えるが、知事の考えを伺いたい。(知事答弁)	教育政策課
13	教育理念・抱負	二見 康之	自由民主党	県教育委員会におけるウェルビーイングの考え方について伺いたい。	教育政策課
14	教員等採用	重松 幸次郎	公明党	本県の教員採用試験において、教員免許を有していないが、多様な専門性を有する外部人材の採用について伺いたい。	教職員課
15	高校教育整備計画	佐藤 雅洋	自由民主党	全国と本県の高等学校における林業に関する学科の設置状況について伺いたい。	高校教育課
16	高校教育整備計画	佐藤 雅洋	自由民主党	本県の農業系高校において林業に関する学科を再度設置することができないか伺いたい。	高校教育課
17	高校教育整備計画	佐藤 雅洋	自由民主党	県立高等学校教育整備基本方針を本年度見直すとのことだが、高千穂高校の今後の方向性について伺いたい。	高校教育課
18	高校教育整備計画	丸山 裕次郎	自由民主党	県立高校の定員確保について、どのように取り組んでいるのか伺いたい。	高校教育課
19	高校教育整備計画	丸山 裕次郎	自由民主党	教員の配置を含め、今後の県立高校の在り方をどのように考えているか伺いたい。	高校教育課 教職員課
20	高校教育整備計画	岩切 達哉	県民連合立憲	県立高等学校教育整備基本方針改定の素案について、その検討状況を伺いたい。	高校教育課
21	高等特別支援学校	重松 幸次郎	公明党	県立高等特別支援学校説明会の実施状況について伺いたい。	特別支援教育課
22	高等特別支援学校	重松 幸次郎	公明党	令和9年度に開校する県央地区の高等特別支援学校における共生社会に向けた取組について伺いたい。	特別支援教育課
23	高等特別支援学校	岩切 達哉	県民連合立憲	県立高等特別支援学校の開校に向けた周知や募集要綱、選考方法などについて伺いたい。	特別支援教育課
24	高等特別支援学校	岩切 達哉	県民連合立憲	県立高等特別支援学校では、どのような教育を行う予定なのか伺いたい。	特別支援教育課
25	高等特別支援学校	岩切 達哉	県民連合立憲	県立高等特別支援学校と県立産業技術専門学校高鍋校販売実務科との役割分担について伺いたい。(商工観光労働部 連名)	特別支援教育課
26	個人情報保護	黒岩 保雄	自由民主党	職員名簿の作成状況について伺いたい	教職員課
27	疾病対策	二見 康之	自由民主党	熱中症対策における県立学校の設備機器の整備について、どのように考えているのか伺いたい。	財務福利課
28	就職	安田 厚生	自由民主党	県立高校生が就職で早期離職しないために県立高校で行っている取組について伺いたい。	高校教育課
29	就職	安田 厚生	自由民主党	10月1日から1人2社応募ができると聞いているが、就職試験解禁日の9月16日からの導入を検討しているか伺いたい。	高校教育課
30	就職	山内 いっとく	自由民主党	就職支援エリアコーディネーターについて、これまでの取組と普通科高校に対する就職支援について伺いたい。	高校教育課

NO	キーワード	質問者	会派	問 い の 概 要	担当課
31	就職	岩切 達哉	県民連合立憲	県内就職率を全国平均並みに引き上げようとした場合、その受け皿となる県内企業の求人数はあるのか伺いたい。また、県立高校生の県内就職率を引き上げるためのこれまでの取組と今後の取組について伺いたい。	高校教育課
32	主権者教育	永山 敏郎	県民連合立憲	県立高校における主権者教育の取組について伺いたい。	高校教育課
33	スポーツ施設	川添 博	自由民主党	県総合運動公園内プール跡地活用の検討状況について伺いたい。（県土整備部・商工観光労働部 連名）	スポーツ振興課 （県土・商工）
34	スポーツ施設	山口 俊樹	自由民主党	ひなたフェスの経済効果をどのように捉えているのか伺いたい。また、次年度以降の音楽やそれに類似するイベントの予定と、今回を踏まえ今後の利活用についてどのように考えているか伺いたい。（知事答弁）	スポーツ振興課 （商工）
35	スポーツ施設	荒神 稔	自由民主党	県山之口陸上競技場のネーミングライツ選定の状況について伺いたい。	スポーツ振興課
36	スポーツ振興	佐藤 雅洋	自由民主党	宮崎県市町村対抗伝競走大会の歴史と意義についてどう捉えているか伺いたい。	スポーツ振興課
37	定時制・通信制 ／夜間中学	工藤 隆久	公明党	県立高校の通信制課程が、不登校経験のある生徒の進学先として役割を果たしているのか伺いたい。	高校教育課
38	特別支援	二見 康之	自由民主党	ディスレクシアなど、学習障がいのある児童生徒への対応はどのようにしているのか伺いたい。	特別支援教育課
39	入試・入学	山口 俊樹	自由民主党	大学入学共通テストの新科目「情報Ⅰ」に対応するための本県のこれまでの取組と、テストの状況を踏まえた今後の対応について伺いたい。	高校教育課
40	博物館	山口 俊樹	自由民主党	県総合博物館には単独の経営計画が存在するのか伺いたい。	文化財課
41	博物館	山口 俊樹	自由民主党	民家園の利用状況と民家園も含めた県総合博物館の今後の歳入確保策について伺いたい。	文化財課
42	美術館	工藤 隆久	公明党	美術館を活用した教育に対する知事の思いを伺いたい。（知事答弁）	生涯学習課
43	美術館	工藤 隆久	公明党	県立美術館を活用した教育における県の取組を伺いたい。	生涯学習課
44	不登校	福田 新一	自由民主党	不登校児童生徒への支援に対する県教育委員会の考え方について伺いたい。	人権同和教育課
45	不登校	前屋敷 恵美	共産党	本県の不登校児童生徒の現状について伺いたい。	人権同和教育課
46	不登校	安田 厚生	自由民主党	不登校傾向の児童生徒に対し、校内において、どのような支援に取り組んでいるのか伺いたい。	人権同和教育課
47	不登校	下沖 篤史	自由民主党	県内の「学びの多様化学校」の設置状況について伺いたい。	人権同和教育課
48	不登校	下沖 篤史	自由民主党	「学びの多様化学校」設置にかかる県の取組を伺いたい。	人権同和教育課
49	不登校	井本 英雄	自民党同志会	オープンダイアログは、精神疾患、ひきこもりなどの当事者の治療や支援に有用であると考えますが、福祉保健部長はどうか考えるか伺いたい。また、不登校の支援に有用なアプローチだと考えるが、教育長の考えを伺いたい。	人権同和教育課
50	不登校	工藤 隆久	公明党	不登校に関する教員研修はどのような内容なのか。また、今年度新たに行っている内容について伺いたい。	人権同和教育課
51	不登校	工藤 隆久	公明党	新たな不登校を生まない小学校段階からの未然防止の取組について伺いたい。	人権同和教育課

令和6年11月 定例県議会 答弁一覧（キーワード順）						★…知事答弁 ◆…副知事答弁 ◎…他部局長答弁					
NO	キーワード	問 い	議員名	所属	年 期	答 弁			担当課		
1	ICT活用	授業におけるタブレットの活用について伺いたい。	二見 康之	自由民主党	R6	11	<p>現在、県内全ての公立学校で学習用タブレット端末を課題解決のための情報収集や自分の考えを友達と共有すること、学習したことをまとめ、表現することなどに活用しております。</p> <p>また、小中学校におきましては、教科書の二次元コードから読み取った動画やデジタル教科書による学習内容の確認、理解度に応じたデジタルドリルなどの活用をしております。</p> <p>さらに、高校におきましては、小中学校で学んだスキルを発展的に活用し探究活動などで、実験データの分析や遠隔地との共同研究などに取り組んでおります。</p> <p>このように、公立学校においては、個に応じた学習や協働的な学びの実現に向けた効果的な活用を進めております。</p>			義務教育課 高校教育課	
2	PTA	PTAの設立経緯と役割について伺いたい。	二見 康之	自由民主党	R6	11	<p>PTAは、昭和22年、戦後の教育民主化の流れを推進するため、当時の文部省が全国に対し、その設置を奨励したことが始まりであります。その3年後には、全国のほとんどの小・中・高等学校にPTAが結成されました。</p> <p>PTAに関して、私の経験を振り返りますと、子育て中は保護者として、PTAの様々な活動や研修に参加し、子供とともに成長する機会をいただきました。また、校長であった際には、活動をととして信頼関係をいただき、よりよい学校運営のために御意見や御協力をいただき、心強いものがありました。</p> <p>このようにPTAには、保護者と教職員が共に学び合いながら、子供たちの健全育成を図るという重要な役割があると考えております。</p>			生涯学習課	
3	PTA	時代に即したPTAの在り方について伺いたい。	二見 康之	自由民主党	R6	11	<p>全国的に、PTAの会員数は、少子化の影響により、年々減少しております。また、任意団体であることや活動に対する負担感から、PTAへの未加入や役員のみ手不足などの問題が見られるようになってきました。</p> <p>このような中、本県の小・中学校の保護者の加入率は99.6%と高い割合を維持しており、現在、新入生保護者や教職員への加入に関する丁寧な説明や各種会議のオンライン化、活動希望者が立候補するエントリー制の導入など、時代に即したPTA活動も行われてきております。</p> <p>県教育委員会といたしましては、活動の内容や会費の使われ方など、PTAの在り方が問われるようになったことを好機ととらえ、よりよい組織や活動となるよう、協議する場を設けるなど、宮崎にあった魅力あるPTA活動づくりを支援してまいります。</p>			生涯学習課	
4	いじめ（いじめ／不登校）	不登校児童生徒数やいじめの認知件数が増加していることを受け、どのような取組を進めていくのか伺いたい。	前屋敷 恵美	共産党	R6	11	<p>不登校やいじめが増加していることにつきましては、大きな課題であると非常に重く受けとめております。</p> <p>現在、県教育委員会では、様々な悩みや不安を感じている児童生徒一人一人の気持ちに寄り添えるよう、スクールカウンセラー等の全校配置やSNSを活用した相談窓口の開設など、教育相談体制の強化を図るとともに、不登校対策の拠点として県教育支援センター「コネクト」を設置したところであります。</p> <p>今後は、未然防止に一層力を入れ、すべての児童生徒が楽しいと実感できる魅力ある学校づくりを推進するとともに、「宮崎県いじめ問題子供サミット」を市町村教育委員会と連携しながら地域ごとに開催するなど、これまでの取組をさらに進めてまいります。</p>			人権同和教育課	
5	学習指導／学習内容	全てを自分たちで考え、話し合い、決めていく自由な教育が大切だと考えるが、教育長の見解を伺いたい。	井本 英雄	自民党同志会	R6	11	<p>子供が自ら考え、話し合い、実際に行動することは、自立や社会参加に必要な力を育む上で、大変重要であると認識しております。</p> <p>そのため、県教育委員会といたしましても、他県の先進的な取組について学ぶとともに、子供が学習の主体となる「ひなたの学び」を推進し、研究校を指定しております。</p> <p>研究校におきましては、子供が学習内容や進め方を自ら選択し、多様な他者と協働して解決する学習が行われております。研究校をはじめ各学校が取り組んでいる「ひなたの学び」と、ご紹介いただきました「きのくに子どもの村学園」の実践は、重なる部分が多いと考えております。</p> <p>今後は、一人一人の良さや可能性を最大限に引き出しながら、持続可能な社会の創り手となる子供たちの育成に取り組んでまいります。</p>			義務教育課	
6	学校給食・食育	市町村における学校給食費の現状と、摂取エネルギーにおける国の基準量及び県の摂取量について伺いたい。	黒岩 保雄	自由民主党	R6	11	<p>令和5年度の県内の市町村における学校給食費の平均月額額は、小学校で4,000円から5,040円、中学校で4,500円から5,700円と市町村によって違いがみられます。</p> <p>また、児童生徒一人当たりの摂取エネルギーについては、県が実施した調査において、小学校では、国の平均基準量650キロカロリーに対して県の平均摂取量は587キロカロリー、中学校では、国の平均基準量830キロカロリーに対して、県の平均摂取量は734キロカロリーとなっております。</p> <p>県の平均が国の平均を下回っているのは、食べ残しや欠席者による残食量を減じてエネルギーを算出することとなっているためであります。もとより、質や量についても十分保たれているものと考えております。</p>			スポーツ振興課	

令和6年11月 定例県議会 答弁一覧（キーワード順）						★…知事答弁 ◆…副知事答弁 ◎…他部局長答弁			
NO	キーワード	問	議員名	所属	年	期	答 弁		担当課
7	学校給食・食育	市町村の学校給食に対して、県はどのような役割を担っているのか伺いたい。	黒岩 保雄	自由民主党	R6	11	<p>県教育委員会といたしましては、県の規則に則り、国や関係部局からの情報や県が実施する学校給食等に関する調査結果の提供、学校給食行政担当者対象の会議の開催等、学校給食が適切に実施されるよう様々な取組を行い、指導助言も行ってまいります。</p> <p>また、安全安心な学校給食の提供のために市町村の調理場への衛生管理に関する立入り調査も実施しているところであり、さらに、学校給食の献立づくりや食材選定などの業務を担う栄養教諭等は県が市町村に配置していますことから、県において、研修会等を実施し、その資質向上に努めております。</p>		スポーツ振興課
8	学校給食・食育	学校給食の質や量について県としてどう考えているのか伺いたい。	黒岩 保雄	自由民主党	R6	11	<p>学校給食の質や量につきましては、法に示された学校給食実施基準に基づき、児童生徒の実態や地域の実情等も踏まえ、各市町村において適切に運用されているものと認識しております。</p> <p>県教育委員会といたしましては、行政担当者対象の会議や栄養教諭等の研修において、献立の作成や給食の提供について、指導や助言を行っております。</p> <p>今後とも、日常的な相談対応も含め、市町村や栄養教諭等と連携しながら、学校給食が充実したものとなるよう努めてまいります。</p>		スポーツ振興課
9	学校指定品・教材	県立高校に通う生徒の教材費等について、保護者の経済的負担の状況を把握しているのか伺いたい。	山口 俊樹	自由民主党	R6	11	<p>県立高校の教材費等につきましては、これまで教育活動における必要性や安全性、保護者の経済的負担の軽減等を考慮し選定や見直しを行うよう各学校に依頼してきております。</p> <p>また、見直しを検討するに当たって、教材等のリユースや指定バッグ等を廃止するなどの具体例を示し取組を進めるよう改めて本年7月にも通知しております。</p> <p>さらに、今年度は、その取組や負担の状況等の調査を行い速やかに取りまとめる予定としており、その旨を校長会等で直接説明したところであります。</p> <p>保護者の経済的負担の状況を把握しその軽減につなげることは大事でありますので、今後も教材費等の負担が過剰とならないよう各学校に働きかけてまいります。</p>		財務福利課
10	キャリア教育 ／職業教育 ／進路指導	県立の職業系専門高校における自動車学校への入学時期について伺いたい。	荒神 稔	自由民主党	R6	11	<p>多くの県立高校におきましては、就職や進学などの進路実現のため、学業を優先し、また、その進路指導の時期を確保するため、校則等において自動車学校への入学時期を定めております。</p> <p>今年度の調査によりますと、県立の職業系専門高校での入学時期は、10月が2校、11月が10校、12月が3校となっております。ここ数年、自動車学校への入学時期を早めてきております。</p> <p>自動車学校への入学条件や入学時期は、校長の判断により、各学校の状況に応じて定めておりますが、生徒の実状をふまえて、不利益を被ることがないよう柔軟に対応してまいります。</p>		高校教育課
11	キャリア教育 ／職業教育 ／進路指導	将来、地元で働きたいと思う子供の育成につながるキャリア教育の取組について伺いたい。	山内 いっとく	自由民主党	R6	11	<p>県教育委員会では、令和4年に宮崎県キャリア教育ガイドラインを改定し、ふるさとを想い、主体的に社会参画をする人材の育成を掲げ、各学校では、子供たちが、地域に貢献する喜びや、働く意義を実感し、自分の生き方を考えることができるキャリア教育に取り組んでおります。</p> <p>中学校においては、地域で受け継がれている行事に参画する活動や地元の企業で実際に働く活動、また、地域の大人からふるさとで暮らす魅力を聞く活動などの学習に取り組み、地元で働きたいという思いにつながっております。</p> <p>そのため、今後も、県のキャリア教育支援センターを中心に、市町村とも連携し、地元企業の魅力やそこで働く人の願いを感じられる取組を推進してまいります。</p>		義務教育課
12	教育理念・抱負	人口減少が進む中、どこにいても質の高い教育が受けられるよう、県は危機感をもって宮崎の人づくりに取り組むべきと考えるが、知事の考えを伺いたい。（知事答弁）	丸山 裕次郎	自由民主党	R6	11	<p>人口減少・少子高齢化が加速する中で、地域の活力を維持し、県民一人一人の幸せな人生を実現するためには、本県の将来を担う人材の育成・確保が不可欠でありまして、その礎となる教育こそが、極めて重要な役割を有していると考えております。</p> <p>このため、県としましては、子どもたちが将来、宮崎で活躍したいという思いや、たとえ進学や就職で県外へ出ても、生まれ育った地域に貢献したい、県内へUターンして働きたいという思いを抱くように、学校・地域・家庭が連携し、郷土愛を育むふるさと教育を推進しております。また、私が子どもと接する機会においては、そのような刺激を少しでも与えることができるよう努めているところであります。</p> <p>また、デジタル活用能力や語学力など、これからの時代に求められる能力や、地域課題の解決や新ビジネスの創出につながるチャレンジ精神を育むなど、自己実現へと導く教育にも力を入れているところであります。</p> <p>予測困難な時代において、宮崎の希望は、また宮崎の将来は子どもたちにあります。将来に渡って地域の学びを守り、全ての子どもたちに質の高い教育を提供しながら「宮崎の人づくり」に、強い思いを持って取り組んでまいります。</p>		教育政策課

令和6年11月 定例県議会 答弁一覧(キーワード順)						★…知事答弁 ◆…副知事答弁 ◎…他部局長答弁		
NO	キーワード	問 い	議員名	所属	年 期	答 弁		担当課
13	教育理念・抱負	県教育委員会におけるウェルビーイングの考え方について伺いたい。	二見 康之	自由民主党	R6	11	<p>ウェルビーイングとは、身体的・精神的・社会的に良好で満たされた状態を示す概念として、国の教育振興基本計画のコンセプトの1つに位置づけられております。</p> <p>県教育委員会では、このコンセプトを踏まえ、自己肯定感や自己実現に加え、ことに利他性や他者との協働など、日本社会に根ざしたウェルビーイングの向上を目指し、本県ならではのウェルビーイングを、「子供」、「教師」、そして、「学校・地域・社会」に向けて定義し、教育活動全体を通じて各施策の取組を進めているところであります。</p> <p>今後とも、一人一人の状況やニーズに応じたより良い教育環境を提供しながら、ウェルビーイングの向上に取り組んでまいります。</p>	教育政策課
14	教員等採用	本県の教員採用試験において、教員免許を有していないが、多様な専門性を有する外部人材の採用について伺いたい。	重松 幸次郎	公明党	R6	11	<p>本県の教員採用試験におきましては、平成27年度より、教員免許を有していないものの、民間企業等の実務経験と、受験科目に関する専門資格等を持つことを条件に、特別選考試験を実施しております。</p> <p>それによって、これまでに、高等学校の工業・水産・福祉において、特別免許状を授与した上で合計6名を採用しており、民間企業等で培った経験や知識を生かした、専門性の高い授業が展開できているところであります。来年度は、高等学校の工業において、2名を採用予定としております。</p> <p>今後とも、社会の変化に対応した教育の充実を図るとともに、人材確保が困難となっている一部の教科において、外部人材の採用を積極的に行っていきたいと考えております。</p>	教職員課
15	高校教育整備計画	全国と本県の高等学校における林業に関する学科の設置状況について伺いたい。	佐藤 雅洋	自由民主党	R6	11	<p>全国の高等学校におきましては、「林業科」「森林科学科」などの名称の学科が9つの道県、14の学校において、設置されております。</p> <p>また、35の府県、58の学校で、林業に関する科目が開設されております。</p> <p>本県におきましては、昭和34年に高千穂高校の林業科、平成2年に宮崎農業高校の林業科、平成26年に高鍋農業高校の農業科林業専攻を、入学希望者の大幅な減少や学科改編等に伴い、それぞれ募集停止にしております。</p> <p>現在は門川高校で、林業に関する科目を開設しております。</p>	高校教育課
16	高校教育整備計画	本県の農業系高校において林業に関する学科を再度設置することができないか伺いたい。	佐藤 雅洋	自由民主党	R6	11	<p>今後、本県の農業系高校において、林業に関する学科を、単独で設置することは、これまでの経緯を踏まえすと、難しいと考えております。</p> <p>しかしながら、「農業と環境」という科目の中で、森林に関する学びはすべての生徒が履修しており、学科はないものの、例えば、高千穂高校や高鍋農業高校では椎茸の原木栽培に取り組みなどの学びを継続しております。</p> <p>県教育委員会といたしましては、本県の素晴らしい森林資源の魅力を伝え、林業後継者の育成につながるよう、関係機関や林業大学校とより一層の連携を図ってまいります。</p>	高校教育課
17	高校教育整備計画	県立高等学校教育整備基本方針を本年度見直すとのことだが、高千穂高校の今後の方向性について伺いたい。	佐藤 雅洋	自由民主党	R6	11	<p>高千穂高校につきましては、世界農業遺産に認定された地域と連携・協働した学びを魅力として、令和7年度から全国を対象とした生徒募集を行い、県外からの生徒と県内の生徒が切磋琢磨する環境を充実させることで、さらなる魅力づくりを目指しているところであります。</p> <p>西臼杵地区でも、今後、中学校卒業生数の減少が見込まれていますが、県教育委員会といたしましては、高千穂高校の専門学科を含めた現在の学びを維持しつつ、多様な学びを展開しながら、時代のニーズに応じたより良い教育環境を提供していきたいと考えております。</p>	高校教育課
18	高校教育整備計画	県立高校の定員確保について、どのように取り組んでいるのか伺いたい。	丸山 裕次郎	自由民主党	R6	11	<p>県立高校の募集定員につきましては、毎年、私立高校と実施している連絡協議会で双方の役割を尊重しつつ、定員調整について協議を行い、公立の定員は中学校卒業予定者の概ね7割としております。</p> <p>各県立高校では、部活動や学校行事等の活性化、地域との協働による探究的な学びの推進など、魅力ある学校づくりに取り組むとともに、オープンスクールの工夫やSNSの活用等で魅力の発信に努めております。</p> <p>県教育委員会としましては、スーパーサイエンスハイスクールやDXハイスクールなどの国や県の事業を活用して特色ある教育を一層推進するとともに、人口減少の中にあっても、地域の学びを維持し、生徒に魅力と活力ある学習環境を提供することで、定員確保にしっかり取り組んでまいります。</p>	高校教育課
19	高校教育整備計画	教員の配置を含め、今後の県立高校の在り方をどのように考えているか伺いたい。	丸山 裕次郎	自由民主党	R6	11	<p>県教育委員会では、令和3年に策定した県立高等学校教育整備基本方針において、高等学校教育を取り巻く社会の変化に対応するため、今年度末を目途に見直しを行うこととしております。</p> <p>具体的には、外部有識者等の意見を伺いながら、学科等の方向性や、募集定員の見通しがこれからの4年間も適切であるかを検討しております。</p> <p>今後、本方針の柱である魅力と活力ある高等学校教育をさらに推進するため、各学校に主幹教諭や指導教諭を適正に配置することにより、教員の指導力を高め、県内全ての学校において魅力ある高校づくりが行えるよう取り組んでまいります。</p>	高校教育課 教職員課

令和6年11月 定例県議会 答弁一覧(キーワード順)						★…知事答弁 ◆…副知事答弁 ◎…他部局長答弁				
NO	キーワード	問 い	議員名	所属	年 期	答 弁			担当課	
20	高校教育整備計画	県立高等学校教育整備基本方針改定の素案について、その検討状況を伺いたい。	岩切 達哉	県民連立憲	R6	11	<p>県教育委員会では、今年度、外部有識者等から構成される学校教育計画懇話会や産業教育審議会等で御意見を伺いながら、方針改定の素案を作成しております。</p> <p>主な検討状況といたしましては、少子化が進む中、中学校卒業生数の見込みを踏まえた、各地区の募集定員の見通しが今後4年間も適切であるか、また、学科等の方向性においては、今、学校で研究しているその在り方や特色ある教育活動が反映されているか等を検討しております。</p> <p>今後はパブリックコメントを実施し、その御意見を踏まえながら、改定を進めてまいります。</p>			高校教育課
21	高等特別支援学校	県立高等特別支援学校説明会の実施状況について伺いたい。	重松 幸次郎	公明党	R6	11	<p>令和8年度、9年度に開校する高等特別支援学校の説明会につきましては、10月下旬から11月中旬にかけて、順次県内4地区、6会場で開催し、小中学校や特別支援学校の保護者や教員、福祉関係者だけではなく、一般の方も含め、全体で230名の方に参加いただきました。</p> <p>説明会では、高等特別支援学校には、高等部のみを設置することや職業的自立を目指す学習として農業や福祉などの専門教科を設定し卒業後、一般就労での就職率100%を目指していることなどを説明させていただきました。</p> <p>参加された方々からは、学習内容や学校生活に関する質問や、開校を待ち望む声が寄せられ、県民の方々の関心の高さと期待の大きさを感じる説明会となりました。</p>			特別支援教育課
22	高等特別支援学校	令和9年度に開校する県央地区の高等特別支援学校における共生社会に向けた取組について伺いたい。	重松 幸次郎	公明党	R6	11	<p>県央地区に設置する高等特別支援学校におきましても、他の3地区に設置する学校と同様、近隣の高校と計画的に行事や学習を行い、生徒同士が互いに学び合う中で、互いの理解を深め、共生社会に向けた自然な交流が実現できると考えております。</p> <p>また、県央地区の教育資源を生かし、企業との連携はもとより、隣接する公共施設や交通機関における体験的な学習や新校舎に設置する交流スペースでの販売実習など多様な学習活動の展開を検討しております。</p> <p>今後、開校に向けて、準備委員会等で検討を重ね、共生社会の実現に向けた取組を具体化してまいります。</p>			特別支援教育課
23	高等特別支援学校	県立高等特別支援学校の開校に向けた周知や募集要綱、選考方法などについて伺いたい。	岩切 達哉	県民連立憲	R6	11	<p>高等特別支援学校は、知的障がいの生徒を対象とし、高等部のみを設置する特別支援学校です。</p> <p>周知につきましては、県のホームページに動画や学校説明資料を掲載するとともに、県内4地区、6会場で学校説明会を開催したところです。</p> <p>募集定員や選考方法等につきましては、令和7年度7月に入学募集要綱において告示する予定であります。</p> <p>募集要綱の告示後、入学を希望する生徒に適切な進路指導が実施されるよう各学校及び関係機関等へ丁寧な説明を行ってまいります。</p>			特別支援教育課
24	高等特別支援学校	県立高等特別支援学校では、どのような教育を行う予定なのか伺いたい。	岩切 達哉	県民連立憲	R6	11	<p>高等特別支援学校では、各教科に加え、農業や福祉などの専門教科を学ばせることとしております。</p> <p>また、学校での学習と、企業での実習を繰り返すデュアル教育システムの導入を検討しております。</p> <p>さらに、交流や共同学習を推進し、近隣の高校と計画的に行事や学習を行い、互いの理解を深めていく共生社会を目指してまいります。</p>			特別支援教育課
25	高等特別支援学校	県立高等特別支援学校と県立産業技術専門校高鍋校販売実務科との役割分担について伺いたい。(商工観光労働部 連名)	岩切 達哉	県民連立憲	R6	11	<p>高等特別支援学校は、卒業後の一般就労につながる専門教科等を学び、職業的自立を目指してまいります。</p> <p>また、県立産業技術専門校高鍋校販売実務科は、知的障がい特別支援学校の卒業生等が職業訓練を希望する場合や離職した場合の学び直しの機会として入校している状況にあります。</p>			特別支援教育課
26	個人情報保護	職員名簿の作成状況について伺いたい	黒岩 保雄	自由民主党	R6	11	<p>県教育委員会作成の職員名簿である「宮崎県教育職員録」は、教育委員会事務局職員及び公立学校職員の所属、職名、氏名などが記載されております。</p> <p>配付先は、教育委員会関係各課等と各県立学校、知事部局の関係課や県議会事務局などに電子データで送付しております。なお、県民のみなさまへの販売等は行っておりません。</p>			教職員課
27	疾病対策	熱中症対策における県立学校の設備機器の整備について、どのように考えているのか伺いたい。	二見 康之	自由民主党	R6	11	<p>県立学校における熱中症対策につきましては予防策や発生時の対応等をまとめた「学校における熱中症対策ガイドライン」に沿って取り組んでいるところであります。</p> <p>議員から御指摘いただきましたとおり、体を冷やしたり空気を循環させることは、熱中症対策のひとつとして効果的な対応であり、現在、県立学校50校のうち製氷機は46校、大型扇風機は49校に整備されております。</p> <p>また、指定避難所となっている33校にはスポットクーラーも整備されております。</p> <p>気候変動による高温リスクが高まる中子どもたちが安全で安心な学校生活を送るために、熱中症対策の設備機器を整備することは重要でありますので、今後とも、各学校の実態と要望を踏まえながら、整備を進めてまいります。</p>			財務福利課

令和6年11月 定例県議会 答弁一覧(キーワード順)						★…知事答弁 ◆…副知事答弁 ◎…他部局長答弁		
NO	キーワード	問 い	議員名	所属	年 期	答 弁	担当課	
28	就職	県立高校生が就職で早期離職しないために県立高校で行っている取組について伺いたい。	安田 厚生	自由民主党	R6	11	県立高校では、1, 2年次に自己理解学習や職業講話、インターンシップ等を行い、学年の進行とともに、自分の適性を知り、勤労観や職業観を高める取組を行っています。 3年次では、志望する企業の勤務条件を研究させたり、応募する前に、職場を見学させるなど実際に働くイメージを持たせることで、就職前後でのミスマッチを防ぐ工夫をしています。 さらに、就職後は教員とともに就職支援エリアコーディネーターが卒業生を訪ね、悩みを聞いたり、アドバイスをしたりするなど職場への定着支援を行いながら、学校と企業を繋ぐ取組を行っています。 今後とも、学年段階に応じ、体系的な進路指導を行い、早期離職の防止に取り組んでまいります。	高校教育課
29	就職	10月1日から1人2社応募ができると聞いているが、就職試験解禁日の9月16日からの導入を検討しているか伺いたい。	安田 厚生	自由民主党	R6	11	本県では、毎年度、就職に係る応募・推薦の在り方や応募書類の内容等につきましては、企業や県立学校長協会等、関係機関で構成される宮崎県高等学校就職問題検討会議における協議を経て、決定しております。 1人1社応募制を申し合わせている理由といたしましては生徒側は丁寧な進路指導のもとで、受験への準備時間が十分に確保されるとともに、身体的・心理的負担も軽減されること、企業側は、内定辞退の抑制に繋がり、計画的・効率的な採用選考が可能となることなどがあげられます。 1人2社応募につきましては、今後とも、全国の状況を注視しながら、関係機関と研究・協議を行ってまいります。 就職支援エリアコーディネーターにつきましては、平成28年度に6名配置し、令和4年度より1名増員して、現在、県内7地区に7名配置しております。 具体的な取組として、各地区における就職促進や早期離職防止を目的に、進路指導担当者と地域の産業関係団体代表者による会議を開催しております。また、こまめに地元企業を訪問し、企業情報や卒業生の就業状況等を学校に提供しております。 普通科高校への就職支援につきましては、県内企業の魅力を知ることは、大学等卒業後の、本県での就職につながることから地元企業による企業説明会や、職業講座等の企画を実施しております。 今後とも、コーディネーターを活用した県内就職促進の取組を積極的に推進してまいります。	高校教育課
30	就職	就職支援エリアコーディネーターについて、これまでの取組と普通科高校に対する就職支援について伺いたい。	山内 いっとく	自由民主党	R6	11	お答えします。県内就職率引き上げの取組についてであります。 令和5年3月末の高校生の県内就職者数は、議員からもご紹介がありましたように1, 489名であり御指摘の、約2割増えた場合は、1, 914名となり、425名分が必要となります。その時点で、県内企業からは、4, 405名分の求人がありましたので、就職先の受入の数としては、十分と受け止めております。 また、平成27年3月に県内就職率が54.0%と過去最低を記録し、県議会でもその改善を取り上げていただきました。その改善に向けて、就職支援エリアコーディネーターによる学校と企業の結びつきの強化や、宮崎労働局や関係機関等と連携した企業見学会、インターンシップ、企業説明会等の取り組みをすすめた結果県内就職率は年々、上昇してまいりました。 今後とも、児童生徒の発達段階に応じたキャリア教育の充実を図りながら宮崎を支える人材の育成に取り組んでまいります。	高校教育課
31	就職	県内就職率を全国平均並みに引き上げようとした場合、その受け皿となる県内企業の求人数はあるのか伺いたい。また、県立高校生の県内就職率を引き上げるためのこれまでの取組と今後の取組について伺いたい。	岩切 達哉	県民連合立憲	R6	11	県立高校では、授業や学校行事を通して選挙の仕組みや政治参加の重要性について理解を深める教育に取り組んでおります。具体的には選挙管理委員会や議会事務局による講話や出前授業のほか、選挙の時期に合わせ、実際の選挙公報を用いて実在する政党や候補者に投票する模擬選挙なども実施しております。 また、総合的な探究の時間では地域の方々と対話したり、生徒同士で議論しながら、地域課題を自分事として捉え、解決策を見出し、提言するなど社会の一員であるという意識を高めるための取組も行っております。 今後も、さまざまな教育活動や、関係機関との連携により、高校生の主権者意識の向上に取り組んでまいります。	高校教育課
32	主権者教育	県立高校における主権者教育の取組について伺いたい。	永山 敏郎	県民連合立憲	R6	11	県総合運動公園のプールは整備を進めております新しいプールの供用開始に合わせ、令和6年度末を目処に用途を廃止する予定であり、跡地活用については、議員紹介のものを含めて様々な意見が寄せられております。 県では「スポーツ観光プロジェクト」において「スポーツ環境日本一」を目指し、シンボルでもあります県総合運動公園の魅力さをさらに高めるなど、ブランド力向上につながる取組を進めているところです。 現在、県総合運動公園において新たな賑わいを創出するための調査等を実施しており、この中で、プール跡地の活用について、今年度、競技団体や県民に対するアンケート等を行い、様々な御意見やアイデアを伺うこととしております。 県総合運動公園は、国体のレガシーでもあり、「スポーツランドみやざき」を象徴する施設であることから、こうした御意見等も踏まえ、スポーツ観光や競技力向上、公園利用者の憩いの場など、様々な角度から、跡地の活用について総合的に判断してまいります。	高校教育課
33	スポーツ施設	県総合運動公園内プール跡地活用の検討状況について伺いたい。(県土整備部・商工観光労働部 連名)	川添 博	自由民主党	R6	11	県総合運動公園のプールは整備を進めております新しいプールの供用開始に合わせ、令和6年度末を目処に用途を廃止する予定であり、跡地活用については、議員紹介のものを含めて様々な意見が寄せられております。 県では「スポーツ観光プロジェクト」において「スポーツ環境日本一」を目指し、シンボルでもあります県総合運動公園の魅力さをさらに高めるなど、ブランド力向上につながる取組を進めているところです。 現在、県総合運動公園において新たな賑わいを創出するための調査等を実施しており、この中で、プール跡地の活用について、今年度、競技団体や県民に対するアンケート等を行い、様々な御意見やアイデアを伺うこととしております。 県総合運動公園は、国体のレガシーでもあり、「スポーツランドみやざき」を象徴する施設であることから、こうした御意見等も踏まえ、スポーツ観光や競技力向上、公園利用者の憩いの場など、様々な角度から、跡地の活用について総合的に判断してまいります。	スポーツ振興課(県土・商工)

令和6年11月 定例県議会 答弁一覧(キーワード順)							★…知事答弁 ◆…副知事答弁 ◎…他部局長答弁		
NO	キーワード	問	議員名	所属	年	期	答	担当課	
34	スポーツ施設	ひなたフェスの経済効果をどのように捉えているのか伺いたい。また、次年度以降の音楽やそれに類似するイベントの予定と、今回を踏まえ今後の活用についてどのように考えているか伺いたい。(知事答弁)	山口 俊樹	自由民主党	R6	11	お答えします。本県が8月の日向灘沖の地震や台風第10号で被害を受け大変厳しい状況の中で、9月早々に開催されたひなたフェスには全国から多くの日向坂46(ひなたざかフォーティシックス)のファンの来県がありました。ひなたフェスの経済効果については、宮崎大学とひなたフェス主催者が合同で調査した結果、29億9千万円とのことであります。県全域にわたっての宿泊や周遊等に伴う経済効果は大変大きく、地域経済の再生を図っていく後押しになったものとありがたく思っております。イベント会場となった県総合運動公園におきましては、現時点でひなたフェスに続く音楽イベント等の具体的な予定は入っておりませんが、これまでの全国規模の大会やプロスポーツキャンプの受入施設としての実績を踏まえ、スポーツの拠点施設としての魅力をさらに高めながら、今回の経験を活かして、施設の有効活用という観点から、音楽ライブをはじめとする各種イベントなど、幅広いニーズに対応できるよう取り組んでまいります。以上であります。	スポーツ振興課(商工)	★
35	スポーツ施設	県山之口陸上競技場のネーミングライツ選定の状況について伺いたい。	荒神 稔	自由民主党	R6	11	県有スポーツ施設におけるネーミングライツ制度は、施設の安定的な運営の確立、県民の皆様への良好なスポーツ環境の提供やスポーツランドみやざきの推進に大きく寄与しております。県山之口陸上競技場のスポンサー企業につきましては、都城市が所管する補助競技場等とともに、今年6月から募集を開始し、県ホームページや新聞、テレビ、ラジオでの告知、企業への訪問等を行ってまいりました。現在、候補企業と調整を継続しているところであり、今後、有識者による選定委員会等を経まして、年明けには決定することとしております。	スポーツ振興課	
36	スポーツ振興	宮崎県市町村対抗駅伝競走大会の歴史と意義についてどう捉えているか伺いたい。	佐藤 雅洋	自由民主党	R6	11	市町村対抗駅伝競走大会につきましては、昭和34年から行われてきた県駅伝競走大会を「口蹄疫からの復興と再生」を合言葉として、平成23年に、現在の形にリニューアルした大会であり、来年1月の開催で15回目を迎えます。この大会は、宮崎日日新聞社、宮崎陸上競技協会主催のもと県庁前楠並木通りを発着とし、小学生から50歳以上の男女が幅広い世代で、市町村の代表としての誇りや、ふるさとを愛する気持ちを1本のたすきでつなぐ、宮崎ならではの大会であると認識しております。また、宮崎の新春を彩る風物詩としても定着しており、世代間の交流や地域の活性化にも貢献する子どもたちへの教育効果も大きい、大変意義深い大会であると考えております。	スポーツ振興課	
37	定時制・通信制/夜間中学	県立高校の通信制課程が、不登校経験のある生徒の進学先として役割を果たしているのか伺いたい。	工藤 隆久	公明党	R6	11	通信制課程は、単位制の利点を生かした学び直しや分割履修ができ、学習者が自分のペース、生活スタイルに合わせて学べることから様々な入学動機、進路希望、背景をもつ生徒が在籍しておりまして、不登校経験のある生徒も、ともに学んでおります。そのような中、生徒一人一人の多様なニーズに応えた丁寧なレポート添削や個別の進路指導などきめ細かな教育に取り組んでおります。また、県教育委員会といたしましては、通信制課程には、スクールカウンセラー等の他、生徒相談支援員も加えて配置するなど、より生徒に寄り添う支援を行っております。今後とも通信制課程の役割を大切にし、多様な教育ニーズに対応してまいります。	高校教育課	
38	特別支援	ディスレクシアなど、学習障がいのある児童生徒への対応はどのようにしているのか伺いたい。	二見 康之	自由民主党	R6	11	読み書きに困難を伴うディスレクシアなど、学習障がいのある児童生徒は、主に小・中学校の通常の学級に在籍しておりまして、これまで、支援員が児童生徒の横に着くなどして障がいの状態に応じた支援を行ってまいりました。タブレットが導入された現在は、例えば、文字を読むことが困難な児童生徒が、読み上げ機能を利用して文章を音声で聞いたり、文字を書くことが困難な児童生徒が、ノートをとる代わりに黒板の文字をカメラ機能で撮影したりするなど、より自立した学習ができております。県教育委員会といたしましては、タブレットを有効に活用するため、教職員に対する研修と児童生徒の学習環境の充実に努めてまいります。	特別支援教育課	
39	入試・入学	大学入学共通テストの新科目「情報Ⅰ」に対応するための本県のこれまでの取組と、テストの状況を踏まえた今後の対応について伺いたい。	山口 俊樹	自由民主党	R6	11	県教育委員会では、令和7年度大学入学共通テストより「情報Ⅰ」が新科目となり、プログラミングやデータの活用など、専門性の高い分野が出題されることを見据えてこれまで準備を重ねてまいりました。具体的には、教科「情報」の担当の全教員を対象に、スーパーティーチャーの授業公開や県内エンジニアによるプログラミング講習などを行うとともに、大学入学共通テストを想定した学習用動画を作成し、県の学習支援ポータルサイトにて公開するなど、教員の指導力や生徒の学力の向上を図る取組を行ってまいりました。大学入学共通テスト後は、出題内容の分析とともに課題を明らかにし、教員のより一層の専門性の向上と生徒の学力向上に取り組んでまいります。	高校教育課	
40	博物館	県総合博物館には単独の経営計画が存在するのか伺いたい。	山口 俊樹	自由民主党	R6	11	県総合博物館は、資料の収集・保存、調査研究及び教育普及活動等を展開し、本県の自然や歴史に関する様々な体験や学習の機会を広く県民に提供することを目的とした公の社会教育施設であります。このような公益性の高い施設であるため、収益を目的とした経営計画はございませんが、5年ごとに運営の指針である「中期運営ビジョン」を策定し、展示計画や入館者数、外部運営資金の獲得など、あらゆる観点から目標となる指標を定めて運営をしております。	文化財課	

令和6年11月 定例県議会 答弁一覧(キーワード順)							★…知事答弁 ◆…副知事答弁 ◎…他部局長答弁		
NO	キーワード	問 い	議員名	所属	年 期	答 弁	担当課		
41	博物館	民家園の利用状況と民家園も含めた県総合博物館の今後の歳入確保策について伺いたい。	山口 俊樹	自由民主党	R6	II	<p>民家園は、イベントでの活用のほか貸出も行ってございまして、昨年度の有料利用は8件でございました。歳入は、各種団体の助成金のほか、今年度、新たに国の交付金を活用してデジタルミュージアム構築事業に取り組むなど、その確保に努めております。</p> <p>その他、夏の特別展は、民間企業等と実行委員会を組織して開催し、観覧料の一部が県の歳入となっております。そのような中、令和4年度に博物館法が改正され、新たな役割として、地域活力の向上への寄与が明記されました。また、この夏の特別展では、日向灘の生き物やデジタル展示が人気を集めました。</p> <p>これらを踏まえ、今後は県内の観光や産業、文化資源をより積極的に発信し、地域活性化や観光振興への貢献に一層注力するとともに、博物館の維持・運営の視点に立った歳入確保策も研究してまいります。</p>	文化財課	
42	美術館	美術館を活用した教育に対する知事の思いを伺いたい。(知事答弁)	工藤 隆久	公明党	R6	II	<p>お答えします。優れた美術作品は、時を超え、国や地域を超え、また言葉をも超え、いつの時代であっても人々に感動をもたらすことができるものであります。子供達が、直に優れた美術作品に触れることは、より豊かな感性と創造性を育む上で大変重要であると考えております。</p> <p>私もよく美術館を訪れますが、この夏も、県立美術館で開催されました「テオ・ヤンセン展」に行っていました。テオ・ヤンセンは、現代のレオナルドダヴィンチと呼ばれる造形作家でありまして、彼の作品は、プラスチックチューブやペットボトルなど、身近な素材で作られた、ビーストと呼ばれる巨大な造形作品でありまして、風の力を受けて、まるで生き物のように歩行する実演が、美術館内でも実際に行われたところでありまして、</p> <p>子供達が、オランダから海を越えてやってきた巨大な作品を見て驚いたり、そして実際に動かしてその仕組みに感動している姿を目の当たりにして、</p> <p>美術作品の持つ力、そしてその価値や普遍性を改めて実感したところでありまして。</p> <p>美しい絵や彫刻などを見て、しみじみ芸術や美術の美の力に浸る、これも魅力的ではありますが、</p> <p>生き物やロボットのように工作物が動く、または、自分の力で動かすことができる、きっと子供達もわくわくしたことに違いないと考えております。また、美術館の出口にはその小さな模型が置いてあってですね、あのうちわでそれを風を起こして実際に動かすことができる。私も夢中になってこれをやったりしておりましたし、そこで競争などが行われていたところでありまして。</p> <p>美術に関して申しますと、私はあの高校時代の美術の先生が繰り返しですね、「センスを磨け。」ということ言われたということを非常に覚えております。適切な栄養をとることによって体を作るのと同じようにですね、一流の美術作品を観ること触れること体験すること、そのことによって、心の栄養にもなり、また自分自身を磨くことができる。今になってみれば、その言葉と意味も分かる訳であります。まあ幼い子供達も含め、そういったことを意識する前から自然に優れた美術作品と出合う機会を提供して、様々なものを吸収して伸びていくその環境を、我々大人の責任で作っていく必要があると考えてございまして、美術館を活用した教育を一層進めてまいります。以上であります。</p>	生涯学習課	★
43	美術館	県立美術館を活用した教育における県の取組を伺いたい。	工藤 隆久	公明党	R6	II	<p>美術作品を自分の目や体で直接捉え、良さや美しさなどを主体的に感じ取ることは、子供の感性を豊かにし、豊かな情操を培うことにつながると考えております。</p> <p>県内の各学校では、県立美術館の収蔵作品が印刷されたアートカードを用いたり、郷土の画家・瑛九や国内外の名画の映像を視聴して、作品の印象を伝え合い、認め合うなどの鑑賞を楽しむ学習を行っております。また、「旅する美術館」として県内の市町村に美術館の収蔵作品を届け、親子で本物と触れる機会をつくるなど、子供から大人まで美術に親しむ機会を設けております。</p> <p>今後、このような美術館と学校が連携した取組を各学校にも広く発信し、県立美術館を活用した教育活動に積極的に取り組んでまいります。</p>	生涯学習課	
44	不登校	不登校児童生徒への支援に対する県教育委員会の考え方について伺いたい。	福田 新一	自由民主党	R6	II	<p>学校は、多くの人たちと関わりながら、様々な体験を通して社会を生き抜く力を養う貴重な場であると考えております。従いまして、不登校につきましては解決すべき喫緊の課題として大変重く受け止めております。</p> <p>学校における不登校児童生徒の支援につきましては、校長のリーダーシップの下、教職員とスクールカウンセラー等が連携し、組織的な支援を行うことが重要であります。</p> <p>また、学校外における支援の場も必要であるとの考え方から、今年度、不登校児童生徒の多様な学びを支える拠点として県教育支援センター「コネクト」を設置したところでありまして。</p> <p>県教育委員会では、今後とも全ての児童生徒の社会的自立を目指し、適切な支援が行えるよう体制を整備してまいります。</p>	人権同和教育課	

令和6年11月 定例県議会 答弁一覧(キーワード順)						★…知事答弁 ◆…副知事答弁 ◎…他部局長答弁		
NO	キーワード	問 い	議員名	所属	年 期	答 弁	担当課	
45	不登校	本県の不登校児童生徒の現状について伺いたい。	前屋敷 恵美	共産党	R6 11	<p>本年10月公表の国の調査によりますと、令和5年度の本県公立小・中・高等学校の不登校児童生徒数は、小学校が943人、中学校が1,680人、高等学校が400人となっており、全国に比べると低い割合にあるものの、令和4年度と比較しますといずれの校種におきましても増加しております。</p> <p>不登校の増加の背景として、コロナ禍以前の生活に戻る中、子どもたちを取り巻く環境が大きく変化したことで、学校生活に対してやる気が出ないことや生活リズムの不調などが見受けられたことなどが国の調査において報告されております。</p> <p>本県においても、コロナ禍での生活が影響を及ぼしたのではないかと考えております。</p> <p>令和5年度の本県公立学校におけるいじめの認知件数は、8,876件となっております。</p> <p>いじめの認知件数につきましては、令和2年度以降、全国的な増加傾向の中、本県では、ガイドラインを用いた教職員の研修や未然防止の取組の成果により、減少傾向にありましたが、令和5年度は、全国と同様に増加しております。</p>	人権同和教育課	
46	不登校	不登校傾向の児童生徒に対し、校内において、どのような支援に取り組んでいるのか伺いたい。	安田 厚生	自由民主党	R6 11	<p>不登校傾向の児童生徒に対しましては、校長のリーダーシップの下、教職員や専門スタッフが実態を把握した上で支援方法を協議し、連携して相談活動や学習支援を行っております。</p> <p>その中で、登校できても教室に入ることが難しい児童生徒に対しましては、これまで教育相談室等の別室で相談活動や学習支援等を行っていましたが、今後、今、議員からも御紹介のありましたように校内教育支援センターとして改めて整備し、一層の支援の充実に取り組む予定としております。</p> <p>校内での支援は、教職員や友人とのコミュニケーションが取りやすく、状況が改善すれば一部教室で授業を受けることもできるなど利点があります。</p> <p>今後も不登校傾向の児童生徒が校内においても適切な環境で学習や生活ができるよう効果的な支援体制の整備に努めてまいります。</p>	人権同和教育課	
47	不登校	県内の「学びの多様化学校」の設置状況について伺いたい。	下沖 篤史	自由民主党	R6 11	<p>不登校児童生徒の実態に配慮した教育を行う「学びの多様化学校」では、総授業時数の削減により、児童生徒の負担を軽減したり、児童生徒の興味・関心がある内容について探究的に学ぶことができるように特色ある教科を新設するなど、特別の教育課程による教育が行われております。</p> <p>国は、この「学びの多様化学校」について、将来的には、全国に300校の設置を目指しており、本県におきましては、令和6年4月に延岡市立南浦中学校の一部の学級を指定し、いわゆる分教室という形で県内初の「学びの多様化学校」が設置されました。</p> <p>また、令和7年4月には、現在、夜間中学校として設置されている宮崎市立ひなた中学校の昼間部に設置されることが先日、発表されたところであります。</p>	人権同和教育課	
48	不登校	「学びの多様化学校」設置にかかる県の取組を伺いたい。	下沖 篤史	自由民主党	R6 11	<p>「学びの多様化学校」は、誰一人取り残されない学びの保障に向けた役割が期待されておりまして、不登校支援を充実させる一つの選択肢として、重要であるとと考えております。</p> <p>今後も市町村の求めに応じて、適切な情報を提供するなど、設置に向けた必要な支援を行ってまいります。</p> <p>なお、県におきましては、現時点で「学びの多様化学校」の設置の予定はございませんが、今年度、不登校支援の拠点として県教育支援センター「コネクト」を設置し、総合的な不登校支援を行っているところであります。</p> <p>県教育委員会といたしましては、今後も不登校児童生徒へ確実に支援が届けられるよう、体制の準備に取り組んでまいります。</p>	人権同和教育課	
49	不登校	オープンダイアログは、精神疾患、ひきこもりなどの当事者の治療や支援に有用であると考えますが、福祉保健部長はどう考えるか伺いたい。また、不登校の支援に有用なアプローチだと考えるが、教育長の考えを伺いたい。	井本 英雄	自民党同志会	R6 11	<p>議員からご紹介いただきましたオープンダイアログにつきましては、私は今回初めて学ばせていただきました。</p> <p>現在、学校では、生徒の自立を促す方法のひとつとして、複数の生徒が対等な立場で自由に発言し、どの発言も否定しないといったお互いを認め合う取組を行っております。</p> <p>この取組は、不登校を経験した児童生徒に対しまして、共感的な人間関係を築く力の育成につながっているとの報告を受けております。</p> <p>したがって、複数の人との対話を重視したオープンダイアログの手法につきましては、将来、児童生徒に社会とのつながりをもたせるという意味におきまして、不登校支援の参考になるものと考えております。</p>	人権同和教育課	
50	不登校	不登校に関する教員研修はどのような内容なのか。また、今年度新たに行っている内容について伺いたい。	工藤 隆久	公明党	R6 11	<p>各学校では、校内研修において不登校傾向の児童生徒の理解や支援の在り方等について、全教職員で共通理解を図っております。</p> <p>また、県教育研修センターでは、不登校支援の基本的な考えからスクールカウンセラー等の活用方法や、各種関係機関との連携の在り方まで職能に応じた研修を実施しております。</p> <p>さらに、今年度より、全ての県立高校で、新たに配置したスクールソーシャルワーカー等を活用した研修を実施するとともに、小・中学校では、37校の研究指定校において、「不登校」をテーマとした研究に取り組んでおり、今後、その成果等を広めていくこととしております。</p> <p>今後も、校内外の研修の充実を通して、教職員の不登校への対応力向上に取り組んでまいります。</p>	人権同和教育課	

■ 令和6年11月 定例県議会 答弁一覧 (キーワード順)							★…知事答弁 ◆…副知事答弁 ◎…他部局長答弁		
NO	キーワード	問 い	議員名	所属	年	期	答 弁	担当課	
51	不登校	新たな不登校を生まない小学校段階からの未然防止の取組について伺いたい。	工藤 隆久	公明党	R6	11	<p>国の調査では、不登校児童生徒数は、年々増加傾向にあり、特に小学校の増加率が高く、本県も同様であることから、学齢の低い段階からの未然防止の取組を進めることが重要であると考えております。</p> <p>本県では、小学校段階から「ひなたの学び」に基づいたわかる授業づくりに取り組むとともに、児童生徒の望ましい行動を認めて伸ばすスクールワイドPBSや児童生徒が互いに支え合うピアサポート活動等とおして、学校が安心して学べる場所となるよう取り組んでいるところであります。</p> <p>県教育委員会といたしましては、今後、外部の専門家を交えて様々な取組の効果を検証するとともに、好事例の提供や研修等を行い、不登校の未然防止の取組が充実するよう学校を支援してまいります。</p>	人権同和教育課	